

議会報告会報告書

令和7年12月18日

小田原市議会議長
井上昌彦様

報告者 議会広報広聴常任委員長
栗畑寿一朗

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日時	令和7年10月31日（金曜日）午前8時55分～午後2時35分			
場所	小田原市役所 議場			
出席者	栗畑 寿一朗	城戸 佐和子	小谷 英次郎	稲永 朝美
	北森 明日香	井上 昌彦		
参加人数	107名（三の丸小学校6年生児童101名、担任教諭6名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

【質疑】 障がい者への支援について教えてください。

【回答】 障がい者本人と介護している人の相談窓口を設置して自宅住み続けられるように支援しています。

【質疑】 人口はどの様に確認していますか。

【回答】 毎月1回に住所基本台帳で確認しています。

【質疑】 小田原をどんな街にしたいですか。

【回答】 子どもがおおきくなったときに住んでいてよかった事思う街にしたい。子供ができて、シングル、介護として障がいがある人も住みよい街にしたい。

【質疑】 税金の使い道を教えてください。

【回答】 みんなが使う病院。

【質疑】 今まで一番大変だった問題はなんですか。

【回答】 議員は最後に賛成、反対をしないとイケない。良くする理由がわかれば良いが、何故、その変更が必要か説明が理解できない場合は困ります。

【質疑】 緊急会議どんな感じですか。

【回答】 一度も経験していないのでわからない。

【質疑】 議会設置から何年ですか。

【回答】 85年です。

【質疑】 市の高齢化対策を教えてください。

【回答】 健康であることが大事。

【質疑】 市の環境保全策は、どんなものがありますか。

【回答】 再エネ推進、市民ネットワーク、段ボールコンポストなどです。

【質疑】 議員になった理由は何ですか。

【回答】 貧困で苦しむ子供たちと出会ったことです。

【質疑】 子育て支援はなにかありますか。

【回答】 出産後に子供を預かる事業。医療無償化、保健師さん訪問などがあります。

【質疑】 障がい福祉サービスはどういうものがありますか。

【回答】 おむつ配布、運動処方という考え方で健康事業しています。

【質疑】 喫煙者への取り組みを教えてください。

【回答】 喫煙する人も禁煙する人も嫌な思いをしない様に分けている施設を作っています。

【質疑】 小学校の数や子どもの数は減っているのですか。

【回答】 全国的に減っている。三の丸地区は子どもの数が増えているから実感は持ちにくいですが、小学校の数も子供の数も全体的に減っています。

【質疑】 小田原市の議員の数を教えてください。

【回答】 27 名が定数で、現在は1名欠員。現在市議会では議員の数をどうするか話し合っているので、注目してほしい。

【質疑】 小田原市の課題を教えてください。

【回答】 人口減少や少子高齢化などが進む中で限られた予算の中で、みなさんが大人になっても安心できるまちづくりをすること。

【質疑】 会議でどのくらいの人が質問したり答えたりするのか

【回答】 本会議では議員が質問する一般質問というものがあり、毎回 20 人以上の議員が質問し、市長や部長などが答えている。

【質疑】 過去の災害をふまえた取組を教えてください。

【回答】 能登半島地震ではトイレ環境が問題となったので、小田原市でもトイレ環境含め避難所環境の整備に力を入れています。

【質疑】 移住者への取組を教えてください。

【回答】 小田原の魅力をアピールしたり、移住を考えている人への相談にのったり、すでに移住してきた人たちの話を聞く機会を作っています。

【質疑】 人口を増やす取組を教えてください。

【回答】 人口を増やすのはなかなかむずかしいが、今住んでいる人、これから住みたいと思う人たちにとってより魅力のある町づくりをしていくことが重要。